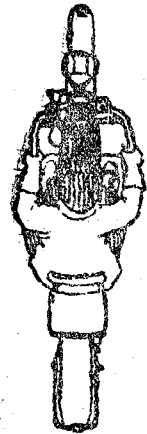


# 通信

## ◎東京だより

田 中 生



肅啓、殘寒更に強く、殊に打續く晴天に水道は給水不足を生じ、電力は缺乏してさらでだに不足な電車は一層減少せられ、此儘にて打過ぐるときは如何なる事態を惹起するならむ

有之、牧新道路局長の勇猛なる奮闘を希望し局長交迭の實を擧げられむことを願ふ次第に御座候。

と案じ候得共、幸ひ近年稀なる降雪を見て都人士は愁眉を開き候。併しながら之が爲惡路は一層其の度を増し、五六寸も積つた雪が自動車を通る毎に、彼方此方に畝を爲し今から田植も始まるが如き感有之、自動車を通つた後、輪轍を便りに歩行するの有様にして女學生に長靴黨の増加するも亦無理からざる義と存候、此状態を何とかして貰ひ度いと、獨り路政當局者の嘆聲にのみ非ずして丁稚小僧に至るまでの要求に

得共、其議決が知事の意見に副はず、爲に所謂原案を執行する必要があるものも尠なからざるやに見受けられ、之が指揮を受くべく内務省地方局に出頭する地方官は日に立替り入り替り多忙を極め居候。その茲に至りたる緣由は、吾人が曩に其不當を主張して已まざりし如く、地方の事情を斟酌せずして徒に歳出を緊縮したることに依るものにして、知事の積極的事業の提案を否決して、原案を執行せむとするものゝ如き類

は一も無之、知事の提出豫算が僅少にして地方の要求を充す能はざるを以て増額議決したるもの多數を占め、殊に此の種議決が道路の維持修繕費豫算に其例多きは、如何なることを表明するやを想はゞ吾人一言なき能はず候、今日地方生活の脅かざるゝ所以は、交通機關不備の爲生産貨物を低廉に手放さざる可からざるに反し、一方需用品の價格は増嵩するに基因する處にして、之が救済の爲には自動車の利用を實行するも道路劣惡にしてその効果を遂ぐる能はざる狀況に在るを以て、之が爲には幾分租税の重課を忍ぶとも尙道路維持の完備を期せむとするは地方民一般の希望に有之、此希望が會々地方議會の豫算議決に反映したるものと可申、此民論を無視してまで尙原案を執行せんとするが如きは地方政治の爲吾人の採らざる處に有之候。

殊に吾人が地方豫算を一瞥して最も遺憾に堪へざるものは三重縣に於て會て計畫されたる木會川架橋を廢止し、鈴鹿峠の改修を一ヶ年延長したることに御座候、固より國道等の如き國家的見地よりして必要なる道路は、特に會々地方的效果妙きものも可有之は已むを得ざる處に御座候得共、此國家的義務を負擔すべき地方が、自己府縣の利害にのみ立脚して地方政治を行ふことは、國民共助共存の原理に悖り封建の遺風

に泥むものと言ふべく彼の大震災を受けて地方財源の枯渇したる神奈川縣が、災前の計畫に屬する箱根峠改修工事を續行せむとし八方財源の捻出に力めて、漸く工事の進捗を圖ることに努力したる一事に鑑るときは、兩者地方政治の進展に霄壤の差ありと言ふ可く、靜岡縣が其管内に屬する東海道國道の大計畫を維持し、愛知縣亦之に力めつゝあるに拘らず、獨り三重縣のみが、地方的僻見に捉はれて事業を廢止したるは、政府が東海道國道の改良を促進せんとする大方針に反し、關係府縣が此方針に則りて施設したる改良工事の効果を抑制するものにして、吾人が三重縣當局に其責を問はんとする處に有之候、宜敷共助共存の理に譬へ其の不明を謝して計畫の續行に力めんことを希望する次第に御座候。

所謂選良諸君の會合も正月二十日より日比谷原頭に開かれ國務大臣に對する質問も終了し豫算總會も亦一應の質問を了して分科會に移らむとする由に有之、論議されたる主要問題は豫想されたる如く貴院改革、義務教育費國庫負擔増額、農村救済を始め所謂解金問題、教育制度の改革、行財兩政整理の批難等にして何れも重要案件に候得共、之を審議する議員が眞面目を缺き議場は惰氣滿ちたる感有之候、三派の協調濃度は世評の如くならずして案外強固に與黨氣分を現はし居候

唯一の在野黨たる政友本黨が、野黨氣分を發揮して政府の政策詰問の方法に出づるならんと豫想されたるに反し、穩健着實なる屁古垂れ文字を搜し出し、堂々たる論議を戦はずことなく、僅に數名を壇上に送つて小競合を爲さしめ、黨首は陣頭に起つことなく眠つた獅子の如き感あるは吾人をして失望せしめ申候、俄然教育費増額の問題に關し神聖なるべき議場に於て流血の慘事を惹起せしめたるは、其の罪何れに在るを問はず議場其のもの墮落を表明するものにして是が我が選良かと、想はず憐憫の情の湧起するを禁する能はず候。

郡役所廢止問題も毎度論議せらるゝ所にして、其の廢止の不得策なることは前々號に於ても論じたる處に有之、是を廢止することは結局府縣の出張所を新設せざるべからざることと相成候に付、内務省に於ては現在郡役所の管轄區域を均等に調整して行政整理の實を擧ぐる趣報道致置候處、其の方針は又々變更されたるものか、這般の豫算總會に於ける片岡内務省政務次官の答辯に依れば、愈々十五年度より廢止する趣に有之、吾人は其の無謀に驚きたる次第に御座候、内務省に於ては、之が跡始末に關し、内閣其の他各省の關係者を集め協議會を開き、現在郡長の有する職務權限を如何に措置するが適當なるや、廢止の結果地方廳に増員の必要あるや、其の他之

に伴ふ經費問題に付研究する所有之、近く具體案を得べき趣夙聞致候、是等の問題を研究したる上廢止の可否に關する結論を得るのが當然なるに、政黨者流の爲す所多くは一時的思ひ附きの世論に迎合するに急にして眞摯なる研究の結果に俟たざるが故に適切なる行政を望むことを得ず本問題亦其の類に非ざるかと存候、何れ成案を拜見したる上更に論評可致候。東京都制案も今期議會に提出するやに付、舊臘末より内務省に於て審議致居候、案其のものは世評に傳へらるゝ程重大なものに無之、東京府の中東京市並荏原郡、豊多摩郡、北豊島郡、南足立郡及南葛飾郡に屬する町村を廢し其の區域を以て東京都を置かんとするものにして、都會、都參事會及都の財務等に關しては現在市制と餘り大差なく、唯だ都の職務を執行すべき者が官吏即ち都長官を以て充てらるゝことゝ、區の制度を確立して各種の機關を設けたることが、現行制度と大なる差異の存する所に有之、殊に前者に關しては本案の大骨子と觀るべき點にして、本案の成否を左右するも亦此點に非ざるかと存候、本案は畢竟現在の自治制に官治制を加味したるものにして、一方自治の進展を獎勵しながら、地方自治體の模範たるべき資質を有せざるべからざる帝都に於て、從來の自治制を排斥して官治化せんとするが如きは時代の逆

轉と言ふべく、吾人の斷じて贊せざる所に有之候、或は歐大陸の都制が都長官選主義を採るもの多きを占むるを以て之に做ひたる事由を説明するものも有之候得共、歐大陸が其の主義を採るに至りたるは、之を必要とする特別の事由存したるものにして、我國の如く國家の制度が確立したる後、地方自治の發達したるものと其の沿革異なるを以て、彼に做ひて我の制度を決定するの必要も無之、或は又現在の市會議員を相手として行動せざるべからざる都長なるが故に之を民選とするときは、都長は低級議員に迎合するに至るべく、假令迎合せずとも是等のものゝ意を迎ふるに急に於て到底理想的な都政を執行することを得ざることを理由とする者も有之、一應の理由とは存候得共、之が爲に現制度をして退歩せしむるの必要なく、如何にせば現在制度の缺陷を救済すべきかを研究し都長が一部議員に左右せられざる方法を講じて都長に絶大の権限を附與することにせば必ずしも官吏を以て之に充つる必要無之義と存候。或は都長には帝都の警察權を行使せしむるものなるが故に、都長を民選にせば時の政府は都長の警察權行使の爲に左右せらるゝの結果を生じ、政治上重大なる問題を惹起すと言ふに在るも、時の政府が警察權を亂用して所謂

高等政策を執行するの都合は之を排斥すべきことに屬し、

若し眞正なる警察權の執行に付民選市長に託すことの不可なる點ありとせば特別の警察機關を設置すれば可なるべく、之を理由として民選主義を排斥するの基礎とならざることを存候、世は自治の善改を希望し、地方長官民選の聲ある今日に於て、從來の自治を排して官選主義を採るが如きは極めて愚策なりと信じ、自治制を謳歌する内務省が此原案を作りたる矛盾を責めざるべからず候。

落語家圓太郎に依つて宣傳された乗合馬車同様の乗合自動車事、東京市營圓太郎自動車營業は收支相償はざる理由を以て廢止の議有之、帝都中流階級者の交通問題として重要視せられ居候、固より市が乗合自動車營業を開始するに至りたるは、震災に因つて焼失損壞したる電車の復舊するまで、交通を緩和する目的の爲なりしを以て、形式論よりするときは、電車の復舊完成したる今日之を廢止するが適當の如く被感候へ共、其の事業の効果を觀るときは、運轉手三百八十人、女車掌三百五十人を使役し三百臺餘の自動車を運轉して一日七萬三千餘人を運送しつゝある狀況に有之、交通上相當の成績を挙げ、電車にも乗る能はざる市民をして聊かなりとも不平を緩和しつゝ、在りしものに有之、市民生活の安定を圖るべき市長が交通上に於ける効果を無視し専ら利益主義に立脚し

て之を廢止せんとするが如きは新市長の爲に惜む所に有之、殊に會社に之を拂下けて經營せしめむとするが如きは、市經營方法の改善に依りて事業遂行の可能性あることを物語るもの

のに有之、況んや従前の車體を改造し日ならずして之を廢止せむとするが如きは、吾人は女車掌に非らざるも其の否を主張して已まざるものに御座候。

災後の市内交通は一層繁劇を加へ、到底既成交通機關にては市民生活を十分ならしめざることに立至り候に付、新市長は其の施政の一端として地下鐵道敷設計畫を樹て出願したる趣に候。その計畫に依るときは、市の中樞地區たる京橋日本橋の一部を起點として郊外に達する六線、延長四十九哩七十鎮の道路地下に本年度より十五年度に亘り經費一億九千九百八十萬圓を以て鐵道を敷設せむとするものに有之、先づ之が計畫案に關し鐵道内務兩省の了解を求め關係者は先般來會合して研究致居候、何人と雖事業其のものに對して異論あるべきものに無之、唯だ財政計畫が市豫定の如き成績を得るやが疑問に候得共、之も亦市長の努力次第にて適當の成績を收め得ること、存候に付、萬難を排して之が遂行に力め行き詰れる市内交通を緩和せられむことを希望して已まざる次第に御座候。敬具

## ◎山口便り

鳴 城 生

肅啓中央地方を通じ今や政治期節の最中にして、明年度に於ける主要行政の陣容——豫算が如何に組織せらるゝかは極めて興味ある問題に有之候、而して現内閣組織の重要な使命として、中央地方に於ける行財兩政の整理緊縮せらるゝことは當然の歸結にして、世論も之の大綱に關しては共鳴し、吾人亦透徹せる緊縮整理を切望する者に有之候、然れども世運の進展を阻止し緊切の事業にして時代の要求に遠ざかることあらんか、實に千歳の恨事にして特に爲政者の省察を乞はんと欲する次第に有之候。申す迄も無之帝國現下の狀勢としては行き詰まれる農村の局面を如何に打開するかは舉世の叫びに有之、而も其の農村振興策として世論が生産増加一點張の舊套を脱し、經濟の調節を主要題目として研究の傾向を馴致したるは時代の趨勢其の然らしむるありと雖も、漸く眞剣味を帯び來れるものとして竊に慶祝を禁ぜざる次第に有之候如此は獨り農政當路者の施設のみに依つて目的を達し得べきにあらず、總べての行政機關に依つて之が對策を講ずること

は眞に焦眉の事項なりと信じ候、就中吾人は農村經濟調節の